

令和3年度厚生労働省老人保健健康増進等事業

地域公共交通の活性化とも連携した住民互助による 移動支援サービスの普及方策に関する調査研究事業 報告会の開催

少子高齢化に伴い、在宅で生活する高齢者の日常生活を如何に継続するかが課題となっています。特に虚弱な高齢者が日常生活を営むために必要となる買い物、通院、社会的交流等を行おうとする際の移動手段については、地域包括ケアシステム構築の観点からも確保が求められます。一方で、公共交通には利用者の減少や運転手の人材不足などが生じており、人口減少・少子高齢化の進行が著しい地域では維持が困難な状況であり、どのように移動手段を確保するかが課題となっています。

高齢者等の移動手段の一つとして、地域の支え合いの取り組みとして行われる「住民互助による移動支援サービス」への関心が高まっています。しかし、**住民互助による移動支援サービスは、地域の困りごとをなんとかしたいと考える住民の方々によって検討されるものの、「進め方がわからない」という状況がみられます。また、相談を受ける自治体等においても、「その位置づけや考え方が整理されていない」、「相談対応・支援を取り組む場合に体制等の環境が整っていない」などの状況がみられます。**

株式会社富士通総研が実施する「地域公共交通の活性化とも連携した住民互助による移動支援サービスの普及方策に関する調査研究事業」（令和3年度厚生労働省老人保健健康増進等事業）では、中国5県内の市町村を対象に実態把握を進め、福祉・交通の学識者・有識者から成る検討委員会で検討を行い、取り組もうとする住民向け・その活動を支える自治体向けの手引きを作成しました。

今回、以上の報告とあわせ、**住民互助による移動支援サービスの必要性や効果などの考え方、具体的に取り組むための支援の方法やポイントなどを知っていただく**ことを目的として、取組を支援する自治体職員や地域の支援者の方々を対象とした報告会を開催します。

本報告会で取り上げる「住民互助による移動支援サービス」は、自治会・NPO団体・協議会などの「地域の団体」が「主に高齢者等を対象」として移動を支援する、「道路運送法の許可・登録を要しない運送」が該当します。

● 目的

本報告会では、本調査研究の成果報告や取組事例の紹介などを通じて、住民互助による移動支援サービスの考え方や取り組むうえでのポイントの共有などを行うことで、住民互助による移動支援サービスに関する理解・知識の習得につなげていただくことを目的とします。

● 開催形式

・本報告会の開催概要は以下のとおりです。

内容	成果報告や事例発表を通じた情報・知見の獲得
日程	2022年3月9日（水）11時～17時
対象者	・ 中国5県の地方自治体における福祉部局や公共交通担当部局の担当者 ・ 中国5県の住民・地域の取組に関する支援者
開催形式	ZOOMビデオウェビナー
参加費	無料
参加方法	① 以下URLのフォームからお申し込みください。 (※2月9日(水)13時より受付開始 2月28日(月)17時受付締切) URL https://www.fujitsu.com/jp/group/fri/report/elderly-health/2021regionalpolicy1a.html ※URLへのアクセスは2月9日（水）13時以降可能となりますのでご注意ください。 ② 後日、ご連絡先のメールアドレスに ZOOMビデオウェビナーの開催URL及び資料ダウンロード用URLをお送りいたします。

「住民互助による移動支援サービス」は、福祉のみならず、公共交通の観点からも重要となる取組です。福祉・公共交通の両御担当者様の積極的なご参加をお待ちしております。

● プログラム（概要）

報告会（2022年3月9日）

項目		内容
I.政策動向	厚生労働省 中国四国厚生局 健康福祉部 地域包括ケア推進課 国土交通省 中国運輸局 交通政策部 交通企画課	<ul style="list-style-type: none"> ● 住民互助による移動支援サービスに関連する福祉・交通分野における政策動向について
II.成果報告	岡山大学 学術研究院 環境生命科学学域 教授 橋本成仁氏 （本調査研究検討委員会委員長）	<ul style="list-style-type: none"> ● 本調査研究で整理した住民互助による移動支援サービスの考え方、立ち上げ・運営のポイント、推進体制について
III.事例発表	<事例1> 菅浦手助す一隊（島根県松江市） 【発表者】 菅浦手助す一隊 代表 小林邦彦氏 松江市（島根県） 【発表者】 松江市 歴史まちづくり部 交通政策課 課長 斉間康浩氏 <事例2> 協同労働 びしゃもん台絆くらぶ （広島県広島市） 【発表者】 毘沙門台学区 社会福祉協議会 事務局長 横平和美氏	<ul style="list-style-type: none"> ● 実施団体及び市町村での取組事例について <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>実際に住民互助による移動支援サービスを実施している2団体から、取り組むうえでの考え方やポイント、実施効果などについて発表いただきます。 また、菅浦手助す一隊の取組支援を行った松江市より、その実施内容、住民互助による移動支援サービスの考え方などについて発表いただきます。</p> </div>
IV.パネル ディスカッション 地域の活性化まで 見据えた住民互助 による移動支援 サービスの役割・ 期待	【コーディネーター】 岡山大学 学術研究院 環境生命科学学域 教授 橋本成仁氏 （本調査研究検討委員会委員長） 【パネリスト】 北上市（岩手県） 都市整備部 道路環境課 課長補佐 高橋正貴氏 美作大学 生活科学部 社会福祉学科 教授 小坂田稔氏 （本調査研究検討委員会副委員長） 特定非営利活動法人全国移動 サービスネットワーク 理事 遠藤準司氏 （本調査研究検討委員会委員）	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の活性化まで見据えた住民互助による移動支援サービスの役割・期待 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>移動支援サービスを考えることは、単なる移動手段の確保、高齢者の困りごとや社会参加への対応のみならず、地域づくりや地域の活性化を考えることにもつながります。 本ディスカッションでは、小さな拠点をつないで活性化を図る「『あじさい都市』きたかみ」によるまちづくりで有名な北上市をパネリストに迎え、地域の状況に応じた移動の考え方を学び、地域の実情にあわせた分野横断的な取組について考えます。</p> </div>